

開発者向け仕様書：周年パレードシステム

25G1058 佐藤 樹

2025 年 12 月 28 日

1 システム概要

本プログラムは、東京ディズニーランドの歴代周年パレード情報を管理するための Web アプリケーションです。Express によるサーバサイド処理と EJS テンプレートを組み合わせ、データの動的な表示と追加機能を実現しています。

2 データ構造

データはサーバ側の変数 `pare` (オブジェクト配列) に格納されます。

- `id`: 登場順を示す数値。
- `code`: 何周年記念かを示す文字列。
- `name`: パレード名を示す文字列。
- `image`: 画像ファイルへのパス (public/配下)。

3 リソースと機能詳細

本システムは、以下の HTTP メソッドとリソース名を用いて操作を定義しています。

機能	HTTP メソッド	リソース名	処理内容
一覧表示	GET	/TD	全データの抽出と一覧表示
データ追加	GET	/TD_add	クエリパラメータを用いた新規登録
データ削除	DELETE (予定)	/TD/:id	指定 ID のデータ削除
データ編集	PUT (予定)	/TD/:id	指定 ID のデータ更新

4 ページ遷移と制御フロー

4.1 遷移の仕組みとユーザー導線

利用者が `http://localhost:8080/GT` にアクセスすると一覧画面が描画されます。データの追加は `/TD_add` を通じて行われます。駅名（または周年名）をクリックするなどのアクションにより、詳細情報の取得や画面遷移が発生する構造となっています。

4.2 操作後の表示内容

追加・変更・削除の各操作が完了した後は、サーバ側で一覧画面へ強制的に遷移させます。これにより、利用者は常に最新のデータ状態を確認することが可能です。

5 授業で説明していない技術の概要と採用理由

本システムの開発にあたり、講義資料の範囲外で採用した技術について以下に記します。

1.REST API（設計思想）

- **概要:** URL を「リソース」として扱い、HTTP メソッドで操作を決定する設計手法です。
- **採用理由:** 統一されたルールで URL を設計することで、プログラムの拡張性と保守性を向上させるため採用しました。

2.res.redirect()（リダイレクト機能）

- **概要:** 処理完了後、サーバからブラウザに対して別の URL へ再アクセスするように指示を出す機能です。
- **採用理由:** データ追加後にブラウザを自動で一覧画面へ戻し、ユーザーが直感的に操作を完了できるようにするために採用しました。

3.express.static（静的ファイル配信設定）

- **概要:** サーバ上の特定のフォルダ内のファイルを、外部から直接参照可能にするミドルウェアです。
- **採用理由:** パレード写真などの画像資産を EJS テンプレートから確実に呼び出し、表示させるために採用しました。

4.”use strict”;（厳格モード）

- **概要:** JavaScript の記述ミスを厳格にチェックし、エラーとして報告させる宣言です。
- **採用理由:** バグの発生を抑制し、コードの品質と実行時の安全性を高めるために採用しました。

6 ソースコードの管理

本システムのソースコードは、以下の GitHub リポジトリで管理しています。

https://github.com/satoitsuki1121/webpro_06.git